

令和 4 年度 峰小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

人間尊重の教育を基盤に，心身ともに健康で，自分の夢や目標のために自ら考え進んで行動できる心豊かでたくましく生きる児童の育成

(1)健康でたくましい子【元気】(2)よく考え進んで学ぶ子【やる気】(3)心豊かで，思いやりのある子【思いやり】

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

テーマ 「地域とともにある学校」

教育基本法，学校教育法及び同施行規則，学習指導要領，栃木県教育委員会の指導の指針，宇都宮市教育委員会第2次学校教育推進計画，第2次宇都宮市学校教育スタンダード，令和3年度指導の重点等に合致した学校経営を目指す。また，本校の教育目標の達成のため，児童の実態や児童の発達段階，特性，地域社会や保護者の願いなどを十分把握するとともに，うつのみや学校マネジメントシステムを十分に生かすことにより，全教育活動を通して心豊かでたくましく生きる児童の育成に努める。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 児童にとって居がいのある活力あふれる楽しい学校・学級を目指し，児童が主役となる場を意図的に設定し，充実感や達成感を味わうことにより，自ら進んで行動できる児童を育成する。
- (2) 長所を引き出し，認め励ます教育を実践する中で，自己の成長を実感させ，自己肯定感を高める。規範意識の醸成，望ましい人間関係と社会性の育成に努めるために，学校教育全体をととして人権尊重の精神の涵養を目的とする教育活動を推進する。
- (3) 楽しく分かる授業の実践ときめ細かな指導の充実，意欲的に取り組む授業づくり，I C T等を効果的に活用するとともに，学びに向かう集団づくり，家庭と連携した家庭学習を推進して，学力の向上を図る。
- (4) 生涯にわたって健康で安全な生活を実現する力を育むために，不審者・災害訓練，交通安全教室などを通して身を守るための行動力の育成，健康や体力の増進，望ましい食習慣の確立に努める。
- (5) 地域の資源・人材を積極的かつ有効に活用するとともに，地域学校園の教育ビジョンを念頭に小中一貫教育の利点を生かした教育活動を推進し，信頼される学校の実現を目指す。
- (6) 教育公務員としての自覚と責任を持ち，コンプライアンスを遵守するとともに，勤務時間を意識した働き方改革と校務を効率的に行えるような工夫改善，事業内容の検討・見直し等を推進する。
- (7) 教職員の専門性や特性が生かせる校務分掌とその体制づくりを推進するとともに，校内研修を活性化させ，教育専門職としての資質と能力の向上を目指す。
- (8) ユニット部会を活用して教職員の学校経営への積極的な参画を促すとともに，組織マネジメントの考えに基づき，全教職員協働による教育目標の達成に努める。

〔陽東地域学校園教育ビジョン〕

「地域の教育力を生かし，地域とのかかわりを通して，確かな学力の定着を図り
心豊かでたくましく生きる子どもの育成」

4 教育課程編成の方針

- (1) 地域協議会を窓口とした保護者や地域団体等の学校への積極的な参画の推進
- (2) 地域団体との連携と地域資源の積極的な活用の推進
- (3) 外部の学校評価等を活用し，地域住民が来校したくなる開かれた学校・地域とともにある学校の実現
- (4) 地域活動等への積極的な参加の奨励と相互理解の推進
- (5) 地域の教育力を最大限に活用した働き方改革の推進

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

（１）学校運営
・重点活動「峰小 元気・やる気・思いやり活動」の推進
・学校経営への参画意識の高揚と組織的で効率的な企画・運営の工夫改善
・児童や地域の実態，地域の環境に即した教育計画の作成と実践
・自分の夢や目標の実現に向けてたくましく生きる児童の育成を目指した教育活動の推進
（２）学習指導 【やる気】＝「自ら進んで表現できる児童の育成」
○・基礎・基本の確実な定着と思考力・判断力・表現力等の育成を目指して教材やＩＣＴ等を効果的に活用した授業・改善，デジタル・シティズンシップの育成，問題解決的な学習の充実，日々の学習とまとめの学習の充実，家庭学習の習慣化，教科担任制の導入に向けた体制作り
・「できた」「分かった」が実感できる「分かる授業」の展開と個に応じた指導の充実
・学習目標の明確化と学習のまとめや振り返りを意識した学習展開の工夫，ＡＩ型ドリル等の計画的な活用，学び合える活動等の工夫
○・「学習の約束」を活用した学習の準備，返事，チャイムの合図の順守の徹底
○・読書活動の推進・充実と読解力の育成
（３）児童生徒指導 【思いやり】＝「自ら考え，適切な判断と行動ができる児童の育成」
・「峰小よい子の一日」や「陽東地域学校園児童生徒の目標」を活用したルールやマナーを守る態度の育成，互いに認め合い励まし合おうとする態度，高め合える学級経営の充実
・感謝の集いやいじめゼロ集会の実施，人権標語の作成による感謝する心や人を思いやる心，生命や人権を尊重する態度の育成
○・「特別の教科 道徳」の指導の充実と道徳的实践力の育成
・共に学び合う場や互いの良さを認め合う場の意図的な設定による望ましい人間関係の醸成
・確かな児童理解に基づく自己肯定感を高める声掛けの継続と個を生かす教育の実践
○・家庭や各種団体と連携したあいさつ運動の推進
（４）健康（体力・保健・食・安全）
【元気】＝「生涯にわたり心身の健康保持増進を図ることができる児童の育成」
・元気っ子チャレンジや各種検定への積極的な参加，自発的なあいさつと返事の励行
・「元気っ子健康体力チェック」の活用等による進んで運動に親しむ態度の育成，自己の健康増進に向けた生活習慣の定着
・感染症の予防についての正しい理解と適切な行動の指導
・歯磨きボランティアの活用による歯磨き指導（きらきらクラブ）の充実
○・視力低下を防ぐ「目の体操」「姿勢体操」の指導，健康を管理する能力の育成
○・望ましい生活習慣の育成と食に関する指導の充実
○・教育活動全体を通した安全教育の充実・徹底，危険回避能力の育成

6 自己評価（評価項目のAは市共通，Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には，A拡充 B継続 C縮小・廃止，を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
	A 1 児童は，進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は，授業中，話をしっかり聞いたり，発表したりするなど，進んで学習に取り組んでいる」⇒児童の肯定的回答 80%以上	①「話し方のきまり」を掲示し，児童が発言したり話し合ったりする際の参考にさせる。 ②児童が多様な考えをもち，主体的に学習に取り組めるようにするため，授業の中に児童が考えたり話し合ったりする時間や自分の考えを発表する場を設ける。	B	【達成状況】 【次年度の方針】

目 指 す 児 童 の 姿	A 2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している」⇒児童の肯定的回答 80%以上	①全ての教育活動の中で、自他の特徴や良さについて考えたり伝え合ったりする時間や場を設定する。 ②「特別の教科 道徳」において、児童の発達段階や特性等を考慮し、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的学習等を適切に取り入れるなど、指導方法を工夫する。 ③感謝の集いやいじめゼロ集会を実施し、感謝する心や人権を尊重する態度を育成する。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている」⇒児童の肯定的回答 80%以上	①「<u>学習のきまり</u>」を掲示し、必要に応じて確認させるなどしながら、<u>学習訓練を徹底させる。</u> ②「峰小よい子の一日」に基づいた生活目標を設定し、学級活動や朝・帰りの会等で繰り返し継続的に指導していくことにより、基本的生活習慣を身に付けさせる。 ③「峰小よい子の一日」を掲示し、めあてをもたせたり振り返りをさせたりして、自覚を深めさせる。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	①あいさつを「今年度のテーマ」をして常に児童に意識させる。 ②あいさつ運動月間を設定するとともに、<u>PTA や地域協議会、地域学校園等と連携したあいさつ運動を実施する。</u> ③教職員が率先してあいさつをする。 ④あいさつの効果や重要性について、道徳や学級活動の時間、全体朝会・一斉下校等を活用して指導する。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	①授業において、既習事項をもとにした少し難しい課題を用意し、児童の挑戦意欲を喚起する。 ②黙々と努力することを必要とする課題に取り組ませる中で、自分の努力の結果と向き合わせ、次の意欲につなげる。 ③根気強く取り組む喜びやおもしろさ等を児童が自主的に見出せる課題を設定し、児童が最後までやり遂げられるように支援する。	A	【達成状況】 【次年度の方針】

A 6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、健康や安全に気を付けて生活している」 ⇒児童の肯定的回答 80% 以上	①「うつのみや元気っ子チャレンジ」に参加し、楽しみながら運動する機会を数多く持たせる。 ②健康に関する意識を高めるために、外部講師や養護教諭と連携した授業や保健指導を行う。 ③給食週間やお弁当コンクールなどの食育行事に進んで参加するように支援し、各自の望ましい食習慣の醸成を図る。 ④各種災害を想定した避難訓練、交通安全教室、不審者対応避難訓練を実施し、児童が危険を予測し、自らの命を守り抜くための行動力を育成する。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
A 7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる」 ⇒児童の肯定的回答 80% 以上	①学級や家庭のために活動することを通して、集団のきまりを守ることや自分の役割を果たすことの大切さに気付かせる。 ②働くことの意義を理解するために、社会科や総合的な学習の時間などにおいて、地域社会で働く人から話を聞いたり働く人と交流したりする活動を行う。 ③宮・未来キャリア教育に位置付けられている活動の振り返りを実施し、自らの成長や変容などの自己理解を促す。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
A 8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、外国語活動（英語）の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている」 ⇒児童の肯定的回答 80% 以上	①児童が英語を使って自分の気持ちや考えなどを適切に伝えることができるようにするために、教員が自ら積極的に英語を使う。 ②児童が生きた英語に触れる機会の充実を図るために、ALTを活用した、英語によるやりとりを中心とした授業を行う。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
A 9 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、宇都宮の良さを知っている」 ⇒児童の肯定的回答 80% 以上	①生活科・社会科の授業などにおいて、体系的な学習を行い、児童が郷土宇都宮の歴史や伝統文化、産業などについて理解し、郷土への愛情と誇りが持てるようにする。 ②国語科の授業などにおいて、百人一首に親しむ学習に取り組み、郷土宇都宮に対する誇りや愛情を育む。 ③各種たより等で保護者への啓発を行う。	B	【達成状況】 【次年度の方針】

	A10 児童は、I C T機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、パソコンや図書等を学習に活用している」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	①タブレット型パソコンをはじめとするI C T機器を活用して、主体的・対話的で深い学びを促進し、児童の情報活用能力を育成する。 ②教科学習で学んだことを確かめたり、自分の考えをまとめたりするなど主体的な学習活動を効果的に行うために、学校図書館を活用する。	A	【達成状況】 【次年度の方針】
	A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している」⇒児童の肯定的回答 80%以上	①高齢者への感謝や敬う心を育むために、生活科や総合的な学習の時間の授業などにおいて、高齢者を講師として招いたりインタビューしたりする学習活動を実施する。 ②高齢者を身近な存在として感じることができるよう、活動の様子を児童に伝えたり、参観の機会を設けたりする。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、環境問題や防災等の「持続可能な社会」について関心をもっている」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	①環境や国際理解、防災や食などをテーマにE S D（持続可能な開発のための教育）やS D G sに取り組む。 ②各教科において、これまで行ってきた学校行事や体験活動などを「持続可能な社会」の視点から関連付け、教科の枠を超えた横断的、総合的な教育活動を実践する。	A	【達成状況】 【次年度の方針】
	A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケート 「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	①特別な支援が必要な児童について、個別の支援計画を作成・活用し、学校全体で指導にあたる。 ②学級担任とかがやきルーム指導員が指導目標や指導の手立てについて、直接話し合ったり、指導記録を確認したりする時間を設け、かがやきルームにおける指導の充実を図る。 ③保護者や関係職員（交流学級等）と丁寧な連絡を取り合い、交流及び共同学習を積極的に推進する。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
目指す学校の	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上（いじめ解消率 100%）	①いじめゼロ強調月間のもとより、あらゆる機会を通して、いじめが許されない行為であることを指導する。 ②アンケートや教育相談の結果を踏まえて、道徳や学級活動の時間に望ましい人間関係を醸成するための心情や判断力を育てる。 ③HP や学校だより・児童指導だより・学年だよりを利用していじめ対策や学校の現状を公表し、家庭・地域との連携を図る。	A	【達成状況】 【次年度の方針】

姿	A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方は、一人一人を大切にし、児童がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	①児童の自己肯定感を高めるために、児童が主体的に活動する場や活躍できる場を意図的に設定する。 ②児童と教師の信頼関係を構築するために、常日頃から児童同士の交友関係の把握に努めるとともに、受容的な態度で寄り添い、児童の話に積極的に耳を傾ける。 ③欠席状況共有シートなどで欠席状況を把握するとともに、校内教育支援委員会を活用し、学校全体で組織的・計画的に支援を行う。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケート 「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	①外国人児童が充実した学校生活を送ることができるように、外国人児童や保護者の情報を収集し、校内での指導体制について共通理解を図る。 ②外国人児童の母語で日本語を指導する母語指導者と日本語で日本語を指導する日本語ボランティアと連携し、外国人児童の日本語指導を行う。 ③外国人児童が在籍する学級においては、学級内の人間関係についてきめ細やかな配慮を行い、個性を認め合う受容的な学級づくりに努める。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、今の学校が好きです」⇒児童の肯定的回答 85%以上	①学校行事や児童活動等で、児童が自主的・主体的に取り組む場を意図的に設定する。特に、<u>あいさつ運動では、児童の発想や主体性を生かし、学校全体であいさつの気運を高めていく。</u> ②Q-U テストや学校生活アンケートを活用して、一人一人の児童にとって居がいのある学級づくり、分かる授業の展開に努める。 ③学級活動やロング昼休みを利用して、学級全員で遊んだり教師と児童が共に遊んだりする機会をもつ。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」⇒児童の肯定的回答 85%以上	①<u>授業のめあてを明確にするとともに、板書や発問、授業形態等を工夫した授業を行う。また、終末には授業で分かったことを振り返る時間をもつ。</u> ②児童一人一人の実態をとらえ、教材研究をするとともに、学校課題の研究や一人一授業等で積極的に授業を公開し、互いの指導法を向上させる。		【達成状況】 【次年度の方針】

A 19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「学校に係る職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	①学校職員（学校図書館司書、学校栄養職員、ALT、かがやきルーム指導員、ICT支援員、スクールカウンセラーなどを含める）が協力して学校業務に取り組める体制を整えるため、専門性や特性を生かした校務分掌を組織する。 ②チームとして学校の力を最大限に生かすために、事前に連絡や話し合いの場を設定する。さらに学校業務に取り組む中で進展状況及び達成度を確認し、改善策等を共有していく。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
A 20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	①学校は、長時間労働を改善するために、業務の精選、校務分掌の見直し、外部人材の活用など業務負担の軽減に取り組んでいる。 ②教職員は、効率的に業務を進め、長時間労働にならないように努める。 ③勤務時間を意識した働き方を推進するため、教職員が取りやすい形でリフレッシュデーを実施する。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
A 21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、小学生や中学生が交流する活動を行っている」⇒保護者の肯定的回答 80%以上	①交流授業や中学校訪問等を通して中学校進学に対する児童の不安軽減を図る。 ②学校園で統一して、お弁当の日・統一献立・学校保健委員会等を行うことで学校園間の連携を強化する。 ③「陽東地域学校園ナビ」を活用して児童・保護者の陽東地域への所属感を高める。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
A 22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、地域や企業の方々と一緒に活動することで学習が充実し、楽しい」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	①「魅力ある学校づくり地域協議会」を窓口に、保護者や地域住民及び峰地域団体の学校教育支援活動を推進する。 ②地域の人材・教育資源を有効に活用した学習活動を展開し、地域の良さに気づき、地域に貢献しようとする態度を育成する。	B	【達成状況】 【次年度の方針】

本校の特色・課題等	A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、地域や企業の方々と一緒に活動することで学習が充実し、楽しい」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	①企業、地域の各種団体、「街の先生」、宇都宮大学、ボランティアなどとの連携・協力による活動をさらに充実する。 ②「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携を密にし、学校運営の充実を図る。特に、地域コーディネーターと連絡・調整を図りながら、学校支援ボランティアの活用を図る。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている」 ⇒保護者、地域住民の肯定的回答 80%以上	①教室内外の掲示物を整えるとともに、定期的な整理・整頓をさせるなどして、学習にふさわしい環境を維持する。 ②場所に応じた清掃の仕方の指導の工夫や班長への指導の充実を図り、縦割り班清掃を通して望ましい環境整備に努める。 ③長期休業等を利用して、特別教室や資料室の整備を行う。 ④安全な学習環境を確保するため、日常的な点検や消毒、換気等を行い、施設・設備の維持管理や修繕を図る。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	A25 学校は、学習に必要な I C T 機器や図書等を整えている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、パソコンや図書等を学習に活用している」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	①児童の情報活用能力を育成するために、タブレット型パソコンをはじめとする I C T 機器や学習に必要な備品を整備する。 ②学校図書館を活用した学習を効果的に行うために、学習に必要な図書を充実させるとともに、学校図書館司書と連携を図る。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	B1 児童は、峰小の合言葉「元気・やる気・思いやり」を意識して生活している。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、『元気・やる気・思いやり』の合言葉を意識して生活するよう指導している」⇒保護者の肯定的回答 80%以上	①峰小の合言葉を行事や活動のねらいに位置付け、意識化を図る。 ②行事や集会等で、合言葉に沿って児童が活動する様子を示すことにより、よりよい校風づくりを推進する。 ③学校だより・学年だよりに児童の活動の様子を掲載し、保護者への合言葉の周知を図る。	B	【達成状況】 【次年度の方針】

B2 児童は、各種検定カード等をもとに、めあてをもって運動に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「自分は、検定カードなどをもとにめあてを決め、達成に向けて努力している」⇒児童の肯定的回答 80%以上	①新体力テストの結果から、課題を明確にし、スポーツ集会や教科体育の時間に計画的に補強していく。 ②各種検定カード・ミニマムを活用して各人に応じためあてをもたせ、教科体育や休み時間に取り組を支援する。なわとび検定では、児童同士で技を伝達する機会を設け、さらに意欲・技術の向上を図る。 ③取組の様子を、「元気活動」として学校だよりや学年だよりで家庭・地域に知らせ、意欲の向上を図る。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
B3 児童は、読書の習慣がついている。 【数値指標】 全体アンケート 「自分は、楽しく読書をしている」⇒児童の肯定的回答 80%以上	①週2回の読書タイムを確実に実施する。 ②読書ノート「みね読書人」の一層の活用を図る。 ③図書館だよりや「読書いっぱい活動」により、家庭と連携して「家読」を奨励する。 ④巡回図書を積極的に活用する。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
B4 学校は、異学年・異校種間の交流や保護者・地域の方との交流により学校生活に潤いをもたせ、「来たる学校づくり」を推進している。 【数値指標】 全体アンケート 「自分は、異学年の友達や地域の方々と一緒に、充実した活動をしている」⇒児童の肯定的回答 80%以上	①児童会活動やクラブ活動、学校行事等において、縦割り班での活動を積極的に取り入れる。 ②幼稚園・保育園・中学校・地域人材との交流を積極的に行い、授業や活動の内容の充実を図りながら、児童の豊かな心情を培う。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
B5 児童は、自分の歯に関心を持ち、食後丁寧に歯磨きをしている。 【数値指標】 全体アンケート 「自分は、食後ていねいに歯磨きをしている」⇒児童の肯定的回答 90%以上	①歯と口の健康に関する意識を高めるために、学校医や養護教諭と連携した授業や保健指導を行う。 ②保健だよりを毎月1回発行するとともに、むし歯のない児童や歯磨き名人を表彰して歯磨きへの意欲を高める。 ③保健委員会やボランティアを活用して、歯磨きの個別指導を実施する。 ④クラス全員での歯磨きをさらに徹底していく。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
B6 児童は、家庭学習の習慣を身に付けている。 【数値指標】 全体アンケート「自分の子どもは、家庭学習（宿題）をしている」⇒保護者の肯定的回答 80%以上	①「家庭学習の手引き」を活用し、家庭学習時間の目安や自主学習の例などを示して、児童が主体的に家庭学習に取り組めるようにする。 ②家庭学習に対して適切な評価をするなど、児童の意欲を高める工夫をする。 ③学校だより・学年だより・HP等で家庭学習の意義や期待される効果を取り上げ、保護者の協力を得る。	B	【達成状況】 【次年度の方針】

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。